

ヤマハ株式会社
2013年3月期
第3四半期決算説明会

2013年2月7日



3Q(10~12月)の状況

- 対前年同期増収も、前回予想の売上予想を大きく下回る
- 楽器の年末商戦での販売が、前回予想に届かなかったことが主要因
- 楽器の在庫が高水準に留まり、削減が進まず
- 楽器事業以外のセグメントでは、ほぼ前回予想通りの損益状況
- 為替は売上高では対前年同期、対前回予想共に増収影響
営業利益では対前年同期で減益影響、対前回予想ではほぼ影響なし

2013/3期 3Q業績概要



▶ 対前年同期、増収、営業経常減益、対前回予想では減収減益 (億円)

	12/3期 (3Q) 実績	13/3期 (3Q) 実績	前年同期比	13/3期 (3Q) 前回予想	前回予想比
売上高	940	971	+3.3%	1,017	▲4.5%
営業利益 (営業利益率)	47 (5.0%)	36 (3.7%)	▲22.9%	52 (5.1%)	▲30.6%
経常利益 (経常利益率)	41 (4.4%)	35 (3.6%)	▲14.5%	44 (4.3%)	▲20.0%
当期純損益 (当期利益率)	▲1 (—)	11 (1.1%)	—	27 (2.7%)	▲58.8%

為替レート (円)

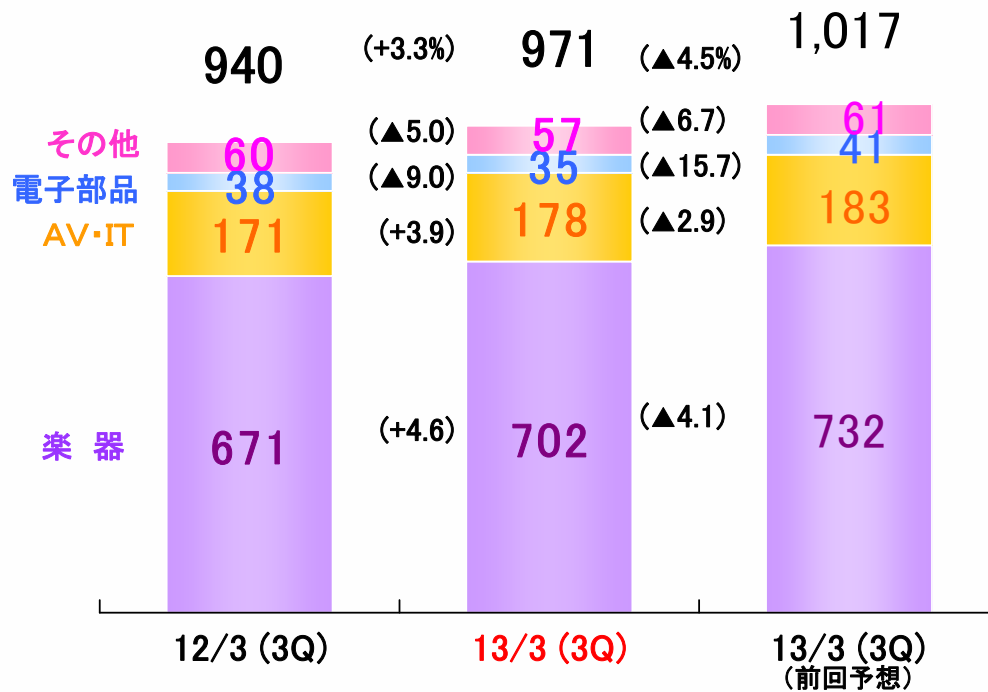
売上高	US\$	77	81	77
	EUR	104	105	100
利益	US\$	77	80	77
	EUR	112	99	100

2013/3期 3Q事業別業績



売上高

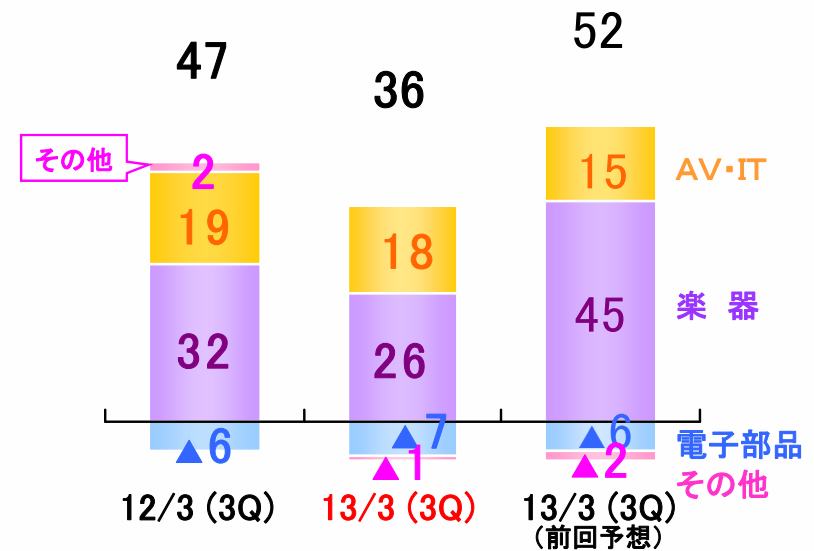
()内は前年同期比
または
前回予想比



営業損益

(億円)

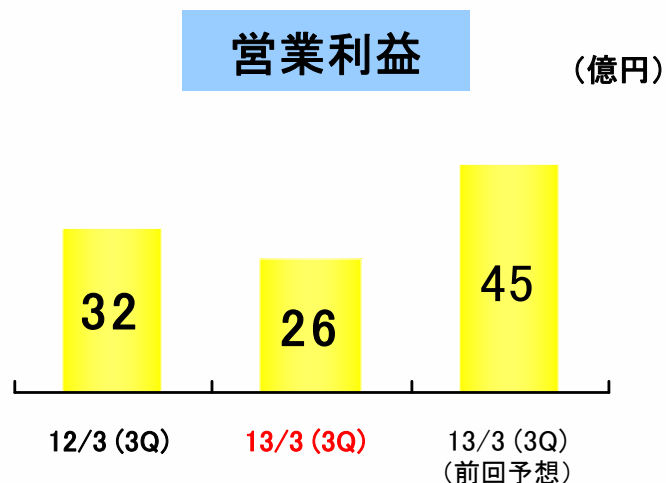
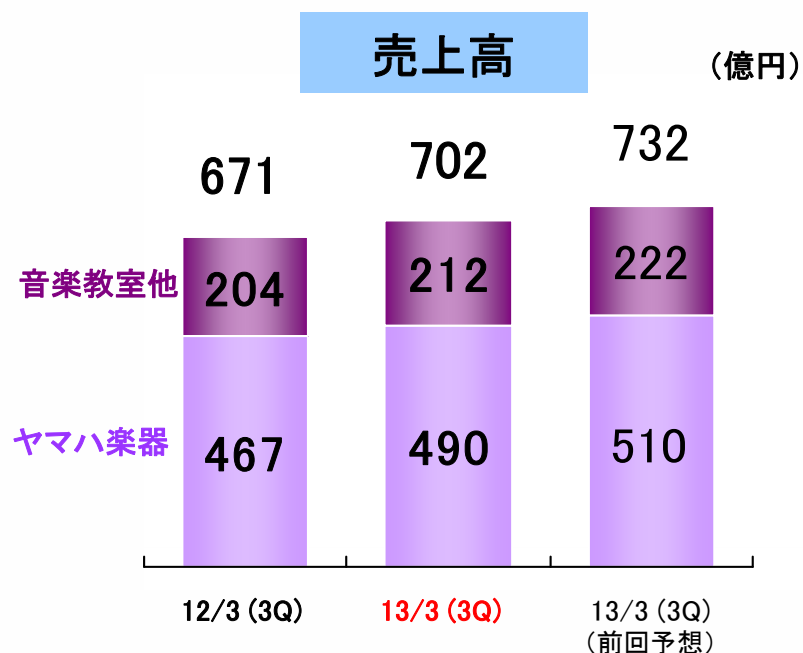
(億円)



	為替影響額
前年同期比較	+12億円 (楽器 +10億円、AV・IT +2億円)
前回予想比較	+26億円 (楽器 +20億円、AV・IT +7億円)

	為替影響額
前年同期比較	▲10億円 (楽器 ▲5億円、AV・IT ▲4億円)
前回予想比較	+0億円 (楽器 +1億円、AV・IT ▲1億円)

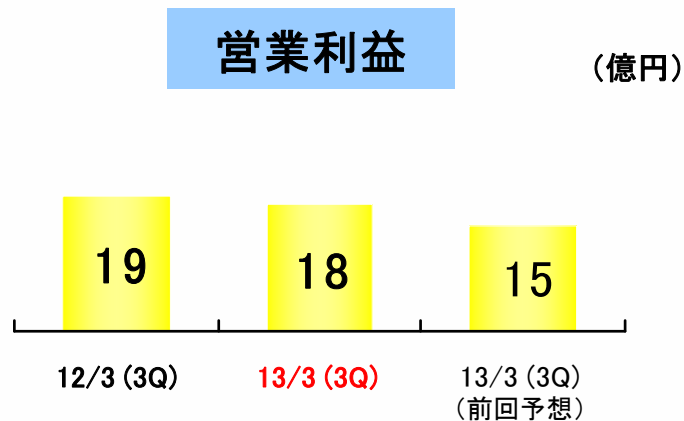
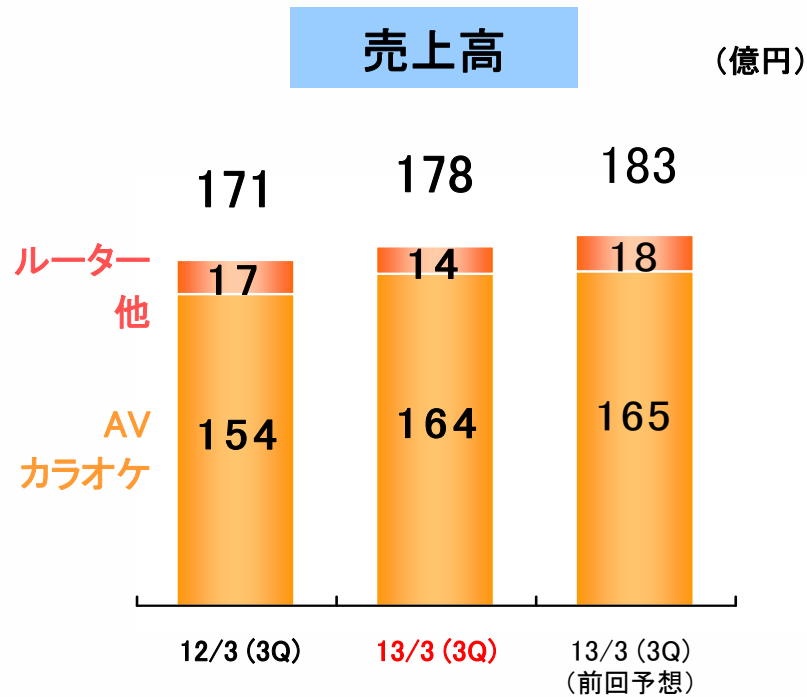
楽器事業 3Qの状況



3Qの状況

- ・対前回予想売上に対する大幅な減収
(市場別の前回予想伸び率と実際の伸び率)
日本 105%→100% 北米 114%→108%
欧州 108%→104% 中国 121%→112%
その他 116%→103% * 現地通貨ベース
- ・為替影響による対前年同期損益悪化

AV・IT事業 3Qの状況



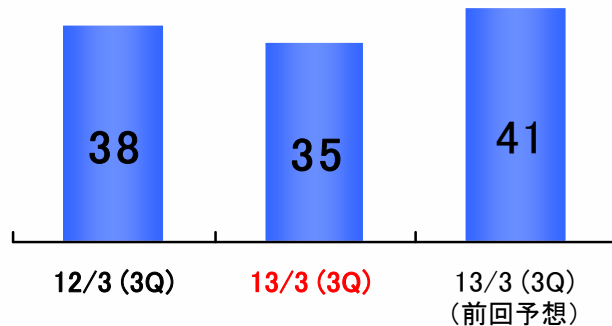
3Qの状況

- ・AV機器は北米市場で好調維持
- ・通信カラオケも堅調に推移
- ・ルーターは在庫調整局面で減収
- ・営業利益は、対前年で若干の減益も、対前回予想では増益

電子部品事業 3Qの状況

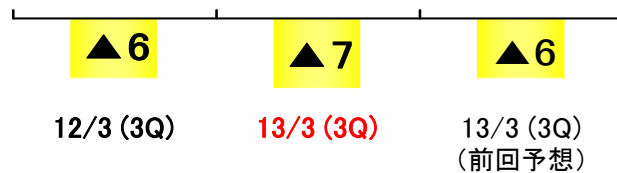
売上高

(億円)



営業損失

(億円)



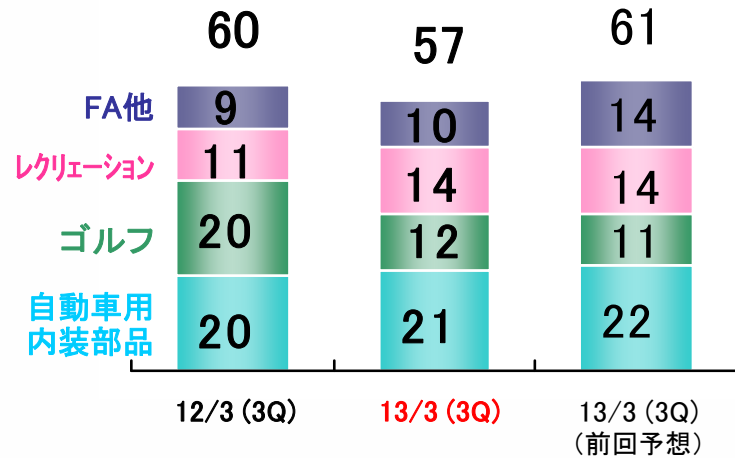
3Qの状況

- ・国内生産子会社、希望退職等合理化施策実施
- ・アミューズメント画像、音源の回復基調
スローダウン
- ・地磁気センサーは前年実績を上回る状況
- ・営業利益は、固定費の圧縮等で
減収による減益影響抑制

その他の事業 3Qの状況

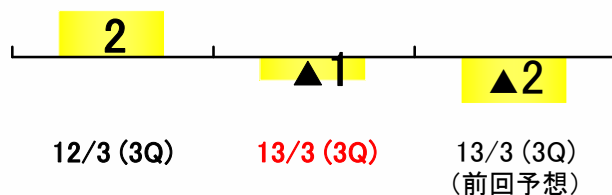
売上高

(億円)



営業損益

(億円)



3Qの状況

- ・自動車用内装部品はほぼ計画通り
- ・ゴルフは新商品投入遅れなどで対前年同期減収
- ・リゾートは冬季集客投資が奏功し対前年同期増収
- ・損益は前回予想から若干の改善

2013/3期 1～3Q業績概要



▶ 対前年同期、増収営業減益、対前回予想では減収減益

(億円)

	12/3期 (1～3Q) 実績	13/3期 (1～3Q) 実績	前年同期比	13/3期 (1～3Q) 前回予想	前回予想比
売上高	2,706	2,739	+1.2%	2,785	▲1.6%
営業利益 (営業利益率)	110 (4.1%)	104 (3.8%)	▲5.1%	120 (4.3%)	▲13.2%
経常利益 (経常利益率)	95 (3.5%)	96 (3.5%)	+1.9%	105 (3.8%)	▲8.3%
当期純利益 (当期利益率)	27 (1.0%)	45 (1.6%)	+63.6%	60 (2.2%)	▲25.7%

為替レート (円)

売上高	US\$	79	80	79
	EUR	111	102	100
利益	US\$	79	80	79
	EUR	114	103	103

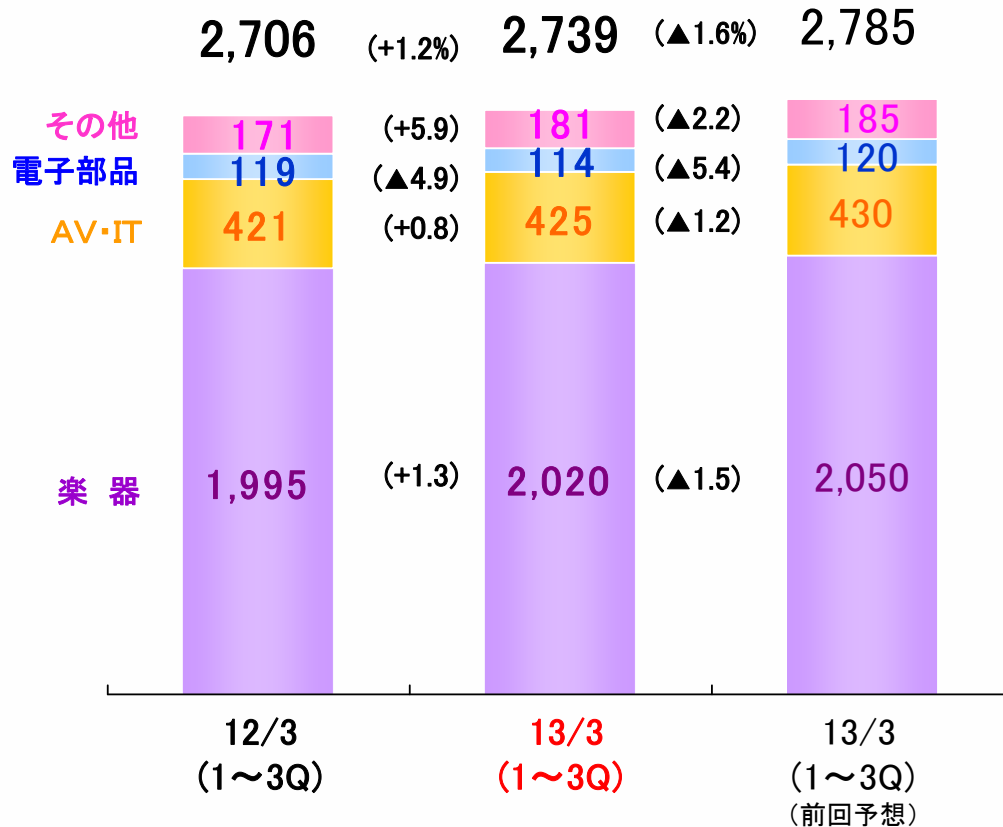
2013/3期 1~3Q事業別業績



()内は前年同期比
または
前回予想比

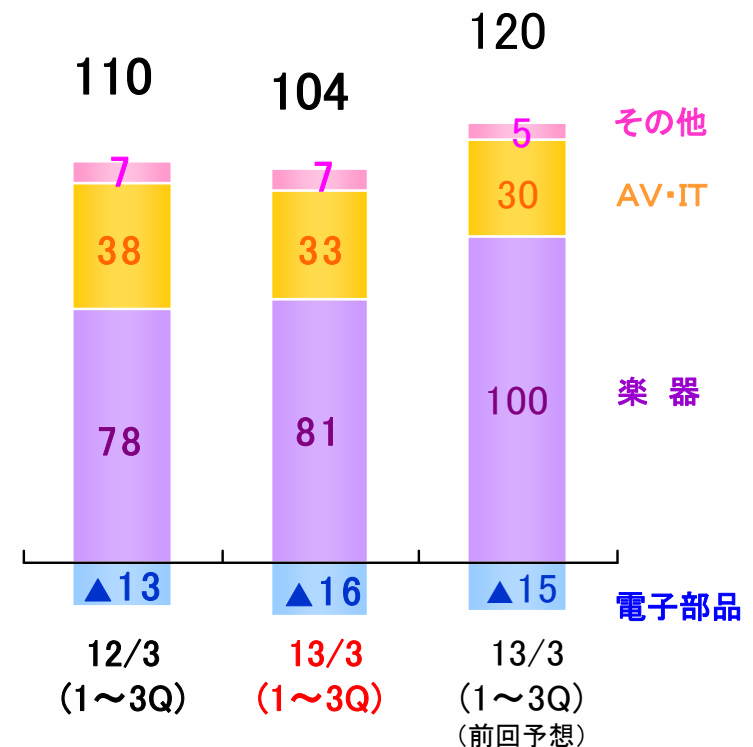
売上高

(億円)



営業損益

(億円)



	為替影響額
前年同期比較	▲39億円 (楽器 ▲31億円、AV・IT ▲8億円)
前回予想比較	+26億円 (楽器 +20億円、AV・IT +7億円)

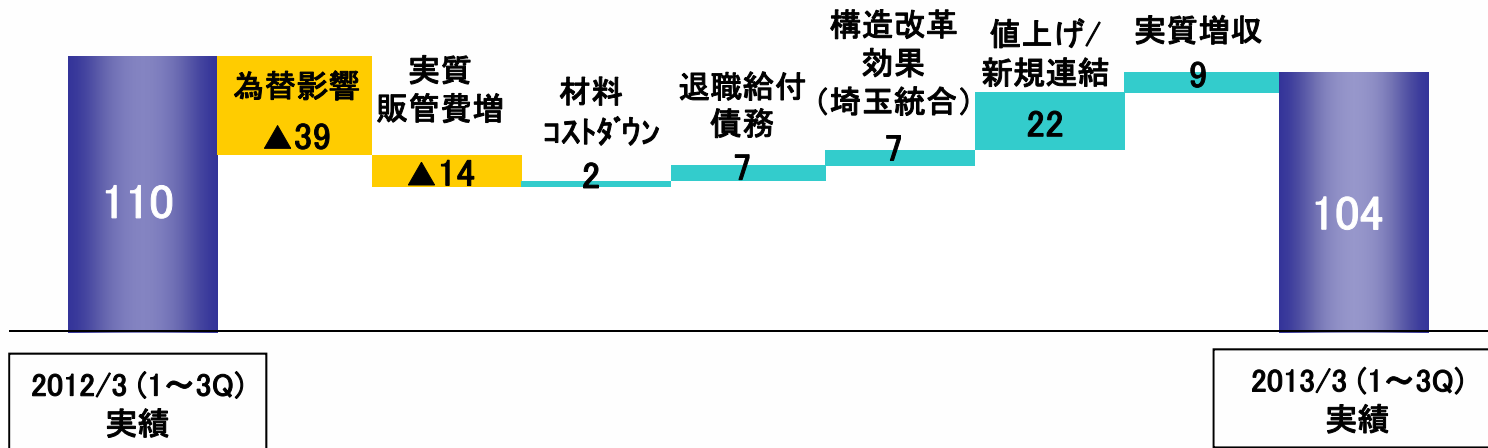
	為替影響額
前年同期比較	▲39億円 (楽器 ▲29億円、AV・IT ▲11億円)
前回予想比較	+0億円 (楽器 +1億円、AV・IT ▲1億円)

2013/3期 1～3Q営業利益増減要因

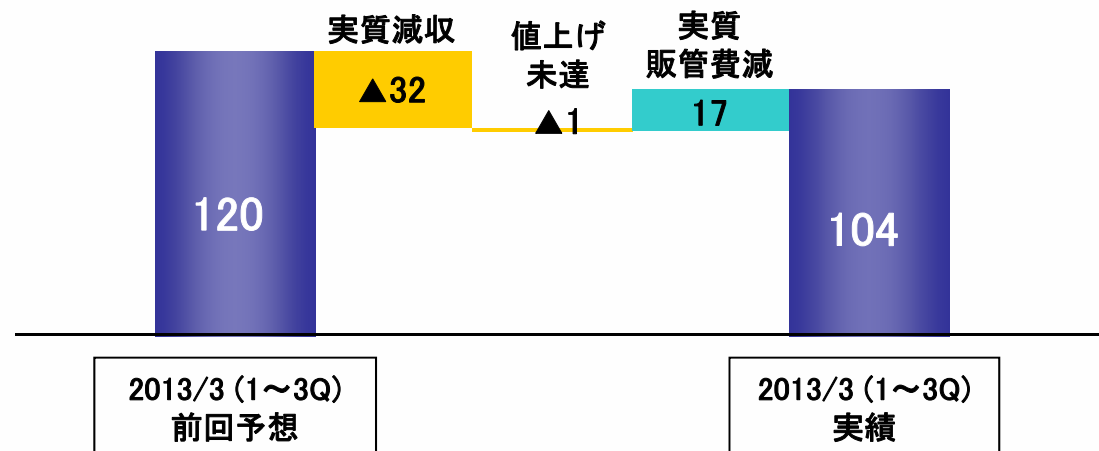


前年同期との比較

(億円)



前回予想との比較



業績予想のポイント

- 楽器各市場での販売予想引き下げ
- 更なる生産調整の実施による製造損益の悪化
- 4Qの為替レート見直し
- 営業利益への最近の円安影響は限定的

業績予想の修正について

楽器事業の3Qにおける、前回予想からの減収減益、また4Qでの実質減収及び生産調整による製造損益悪化を主要因として業績予想の下方修正を行う

2013/3期 4Q業績予想



▶ 対前年同期、対前回予想とも増収減益

(億円)

	12/3期 (4Q) 実績	13/3期 (4Q) 予想	前年同期比	13/3期 (4Q) 前回予想	前回予想比
売上高	860	911	+5.9%	890	+2.3%
営業損失	▲29	▲34	—	▲10	—
経常損失	▲22	▲36	—	▲15	—
当期純損失	▲321	▲45	—	▲25	—

為替レート

(円)

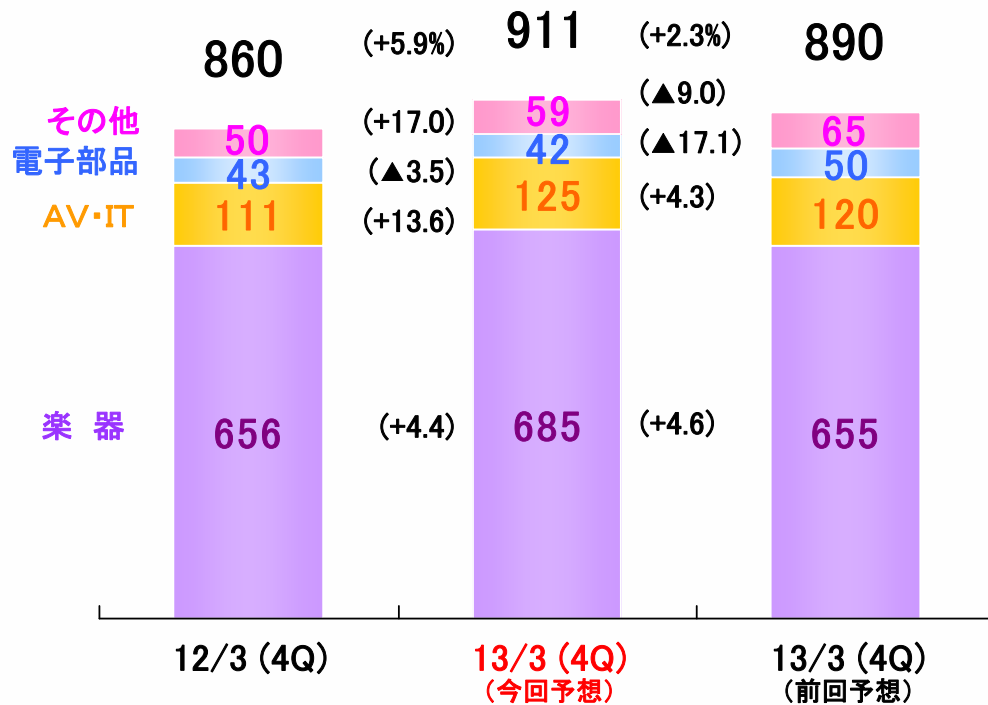
売上高	US\$	79	85	77
	EUR	104	115	100
利益	US\$	78	85	77
	EUR	104	105	100

2013/3期 4Q事業別業績予想



()内は前年同期比
または
前回予想比

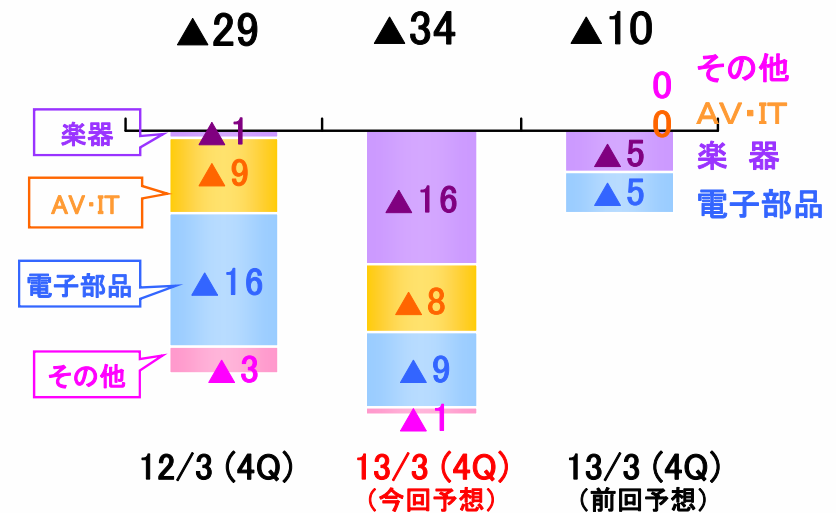
売上高



営業損益

(億円)

(億円)



	為替影響額
前年同期比較	+38億円 (楽器 +30億円、AV・IT +7億円、電子部品 +1億円)
前回予想比較	+52億円 (楽器 +41億円、AV・IT +10億円、電子部品 +1億円)

	為替影響額
前年同期比較	+4億円 (楽器 +4億円、AV・IT ▲1億円)
前回予想比較	+5億円 (楽器 +5億円)

2013/3期 通期業績予想



▶ 通期業績は、前回予想に対し、減収、大幅な減益を予想

(億円)

	13/3期 (1~3Q) 実績	13/3期 (4Q) 予想	13/3期 通期 今回予想	13/3期 通期 前回予想	12/3期 通期 実績	前回予想 変化額	前期実績 変化額
売上高	2,739	911	3,650	3,675	3,566	▲25	+84
営業利益 (営業利益率)	104 (3.8%)	▲34 (—)	70 (1.9%)	110 (3.0%)	81 (2.3%)	▲40	▲11
経常利益 (経常利益率)	96 (3.5%)	▲36 (—)	60 (1.6%)	90 (2.4%)	73 (2.0%)	▲30	▲13
当期純利益 (当期利益率)	45 (1.6%)	▲45 (—)	0 (—)	35 (1.0%)	▲294 (—)	▲35	+294

為替レート

(円)

売上高	US\$	80	85	81	78	79
	EUR	102	115	105	100	109
利益	US\$	80	85	81	78	79
	EUR	103	105	103	103	112

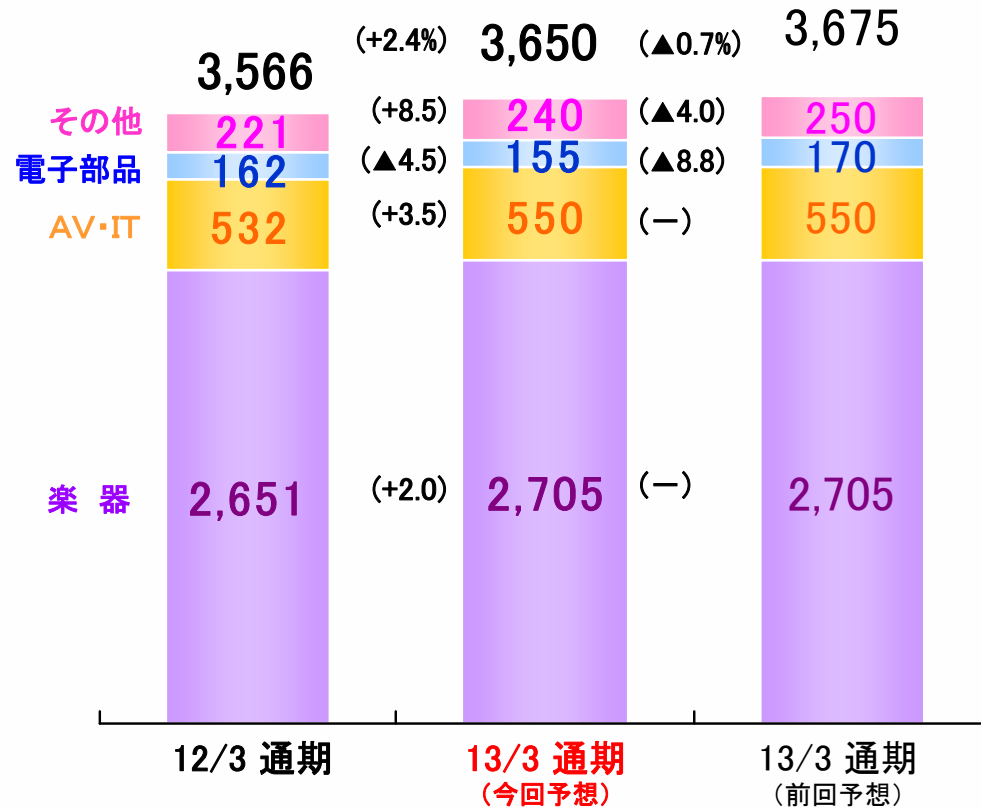
2013/3期 通期事業別業績予想



()内は前期比
または
前回予想比

売上高

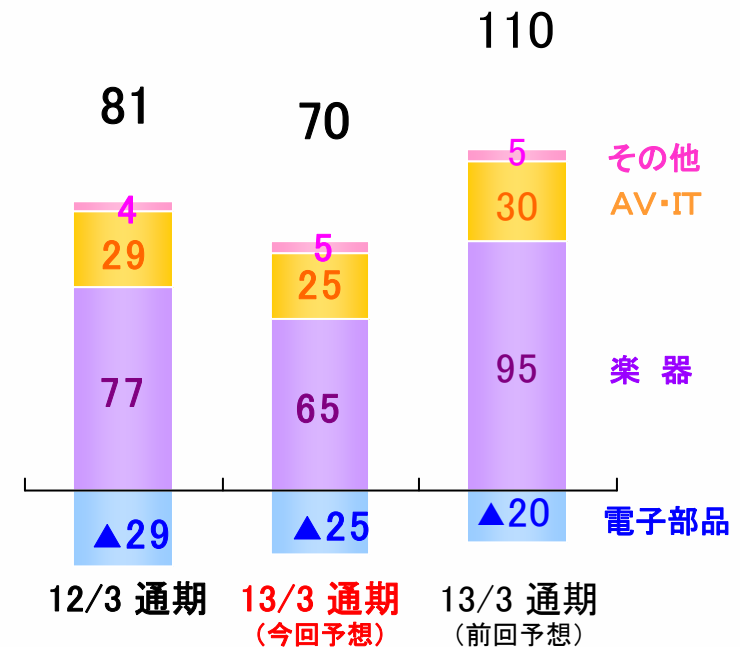
(億円)



	為替影響額
前期比較	▲1億円 (楽器 ▲1億円、AV・IT ▲1億円、 電子部品 +1億円)
前回予想比較	+78億円 (楽器 +61億円、AV・IT +17億円、 電子部品 +1億円)

営業損益

(億円)



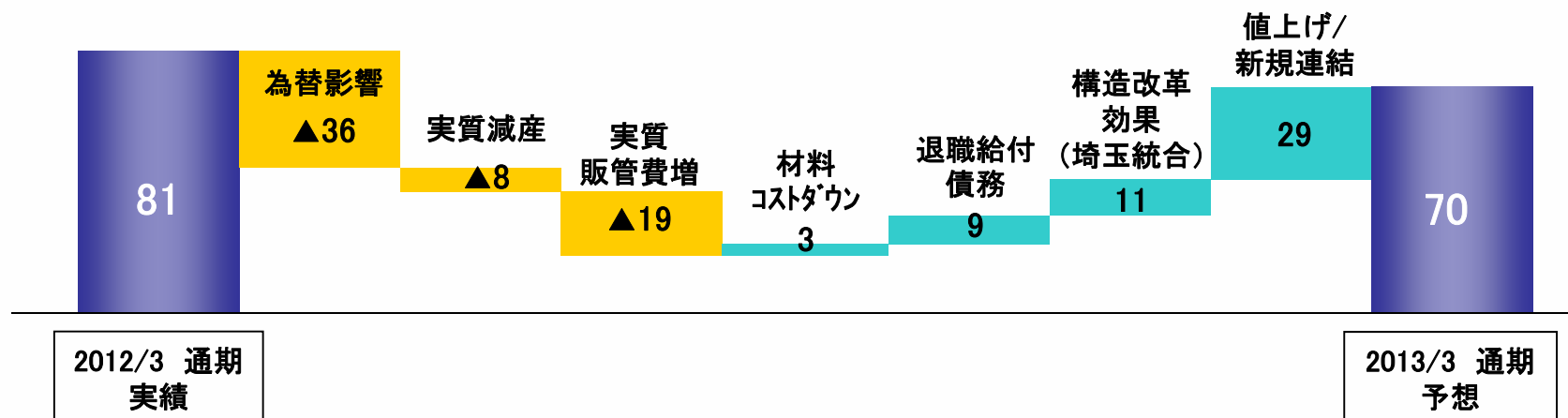
	為替影響額
前期比較	▲36億円 (楽器 ▲25億円、AV・IT ▲11億円)
前回予想比較	+5億円 (楽器 +6億円、AV・IT ▲1億円)

2013/3期 通期営業利益増減要因

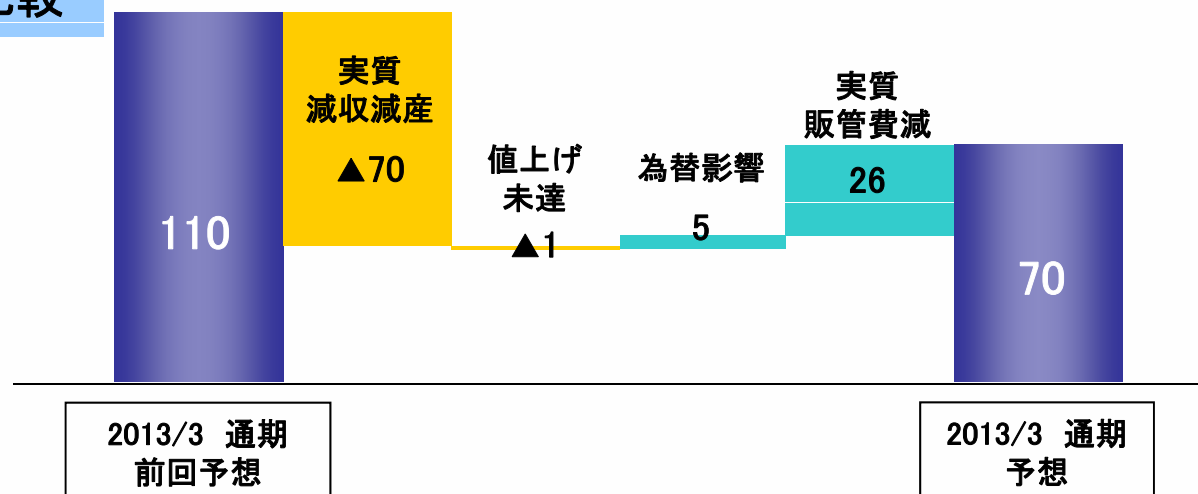


前期との比較

(億円)



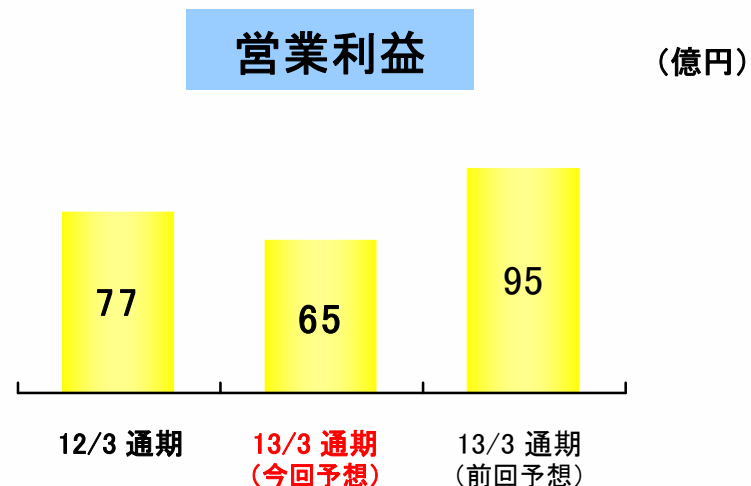
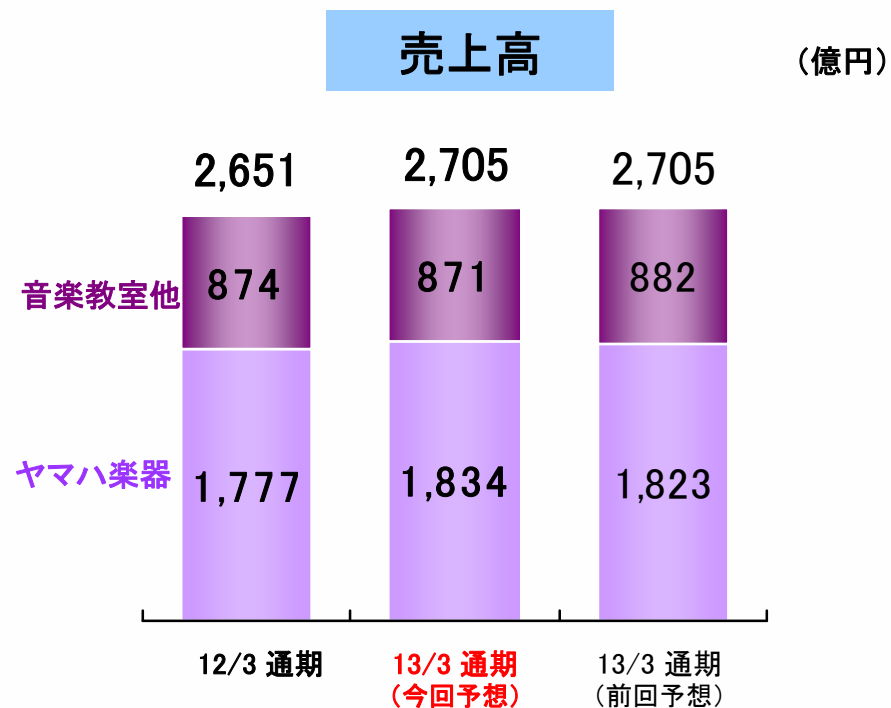
前回予想との比較



楽器事業 通期予想

通期予想

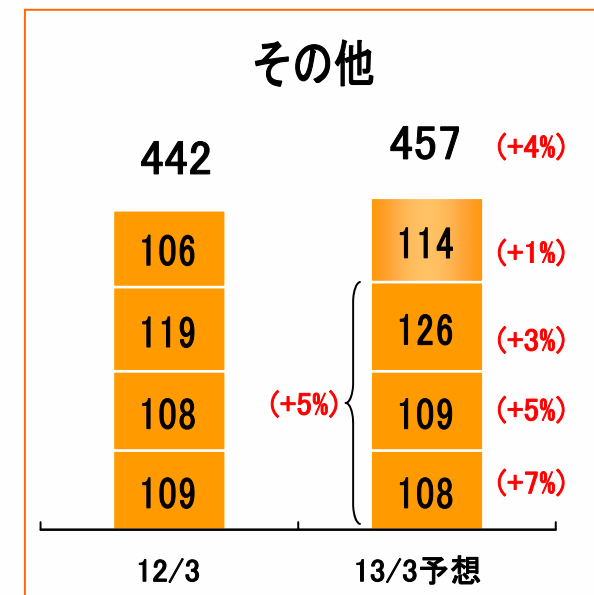
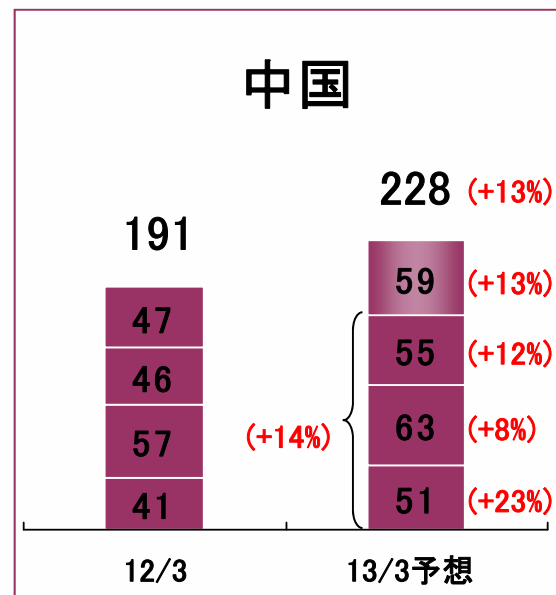
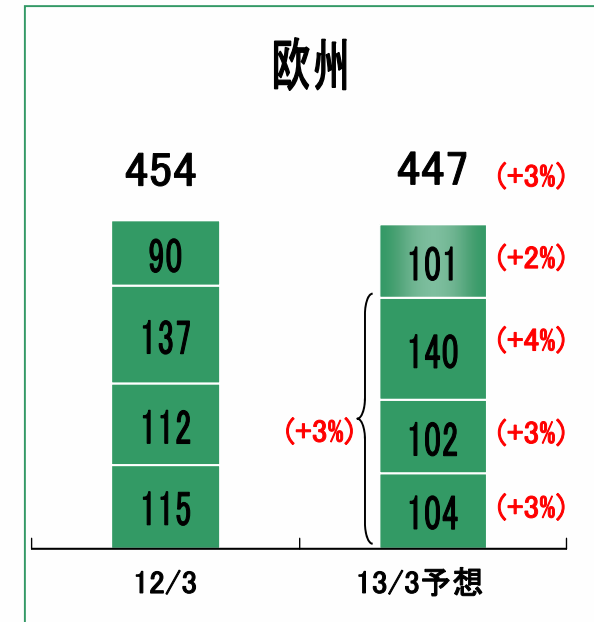
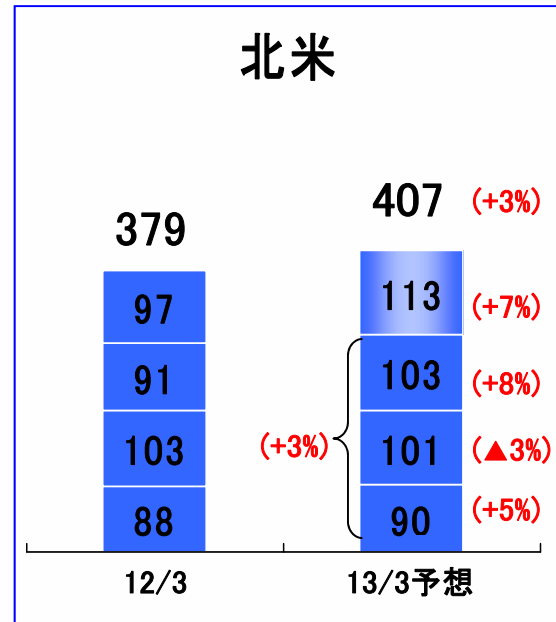
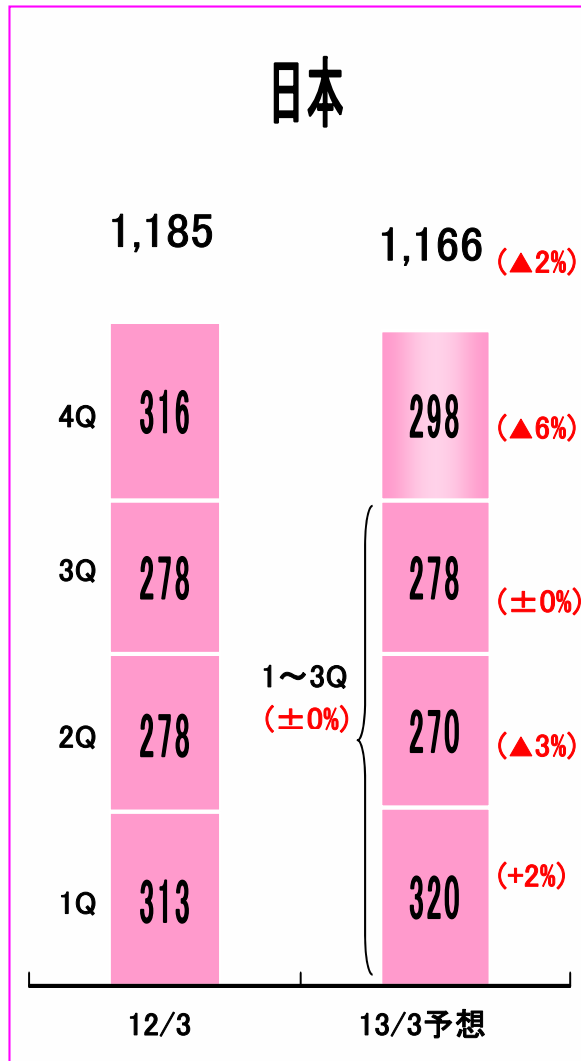
- ・対前期増収、前回予想並みの売上高想定は、実質減収
- ・全市場で前回予想から減速
特に国内、その他市場は大幅なスローダウンを想定
- ・損益は対前回予想での実質減収、製造損益の悪化で大幅な減益



楽器事業(地域別の販売状況)

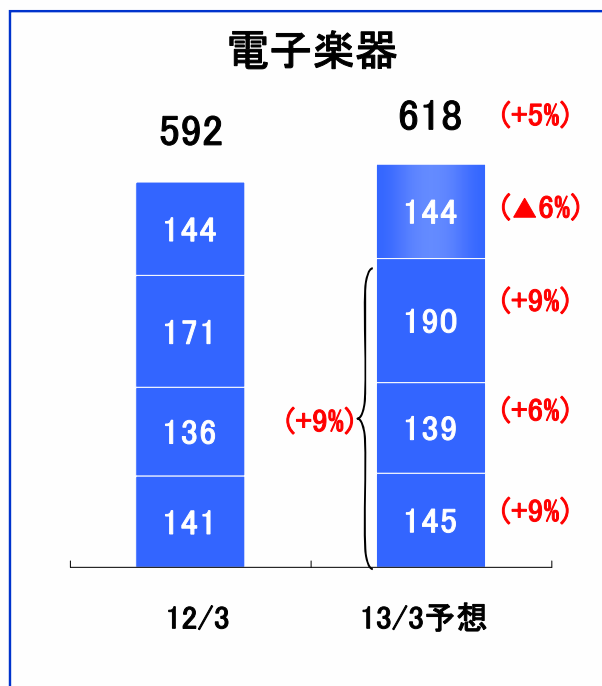
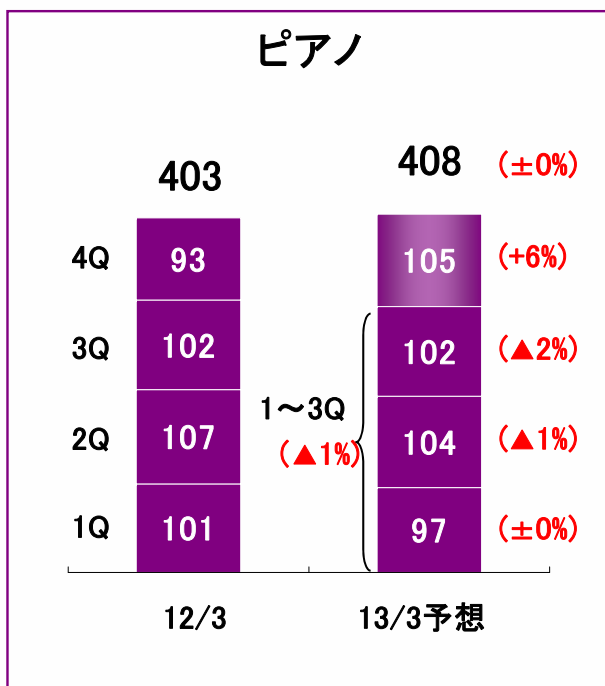
(億円)

*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減



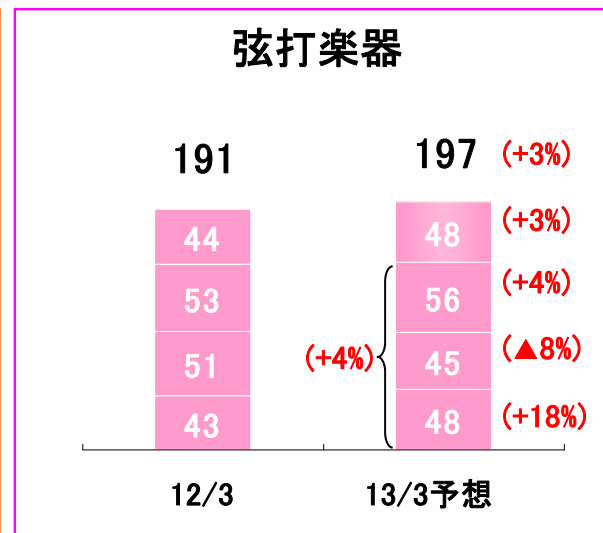
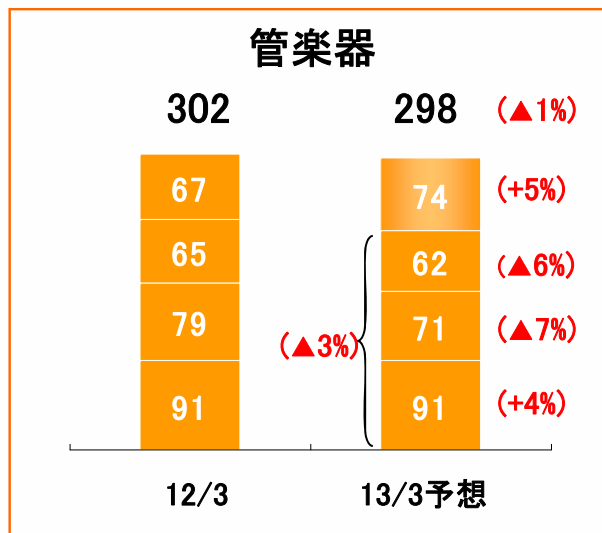
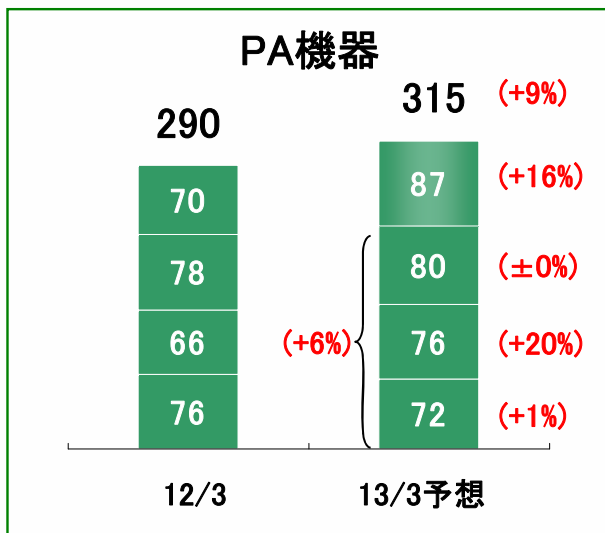
楽器事業(商品群別の販売状況)

(億円)



*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減

※エレクトーンを電子楽器に
含めて表示しております。



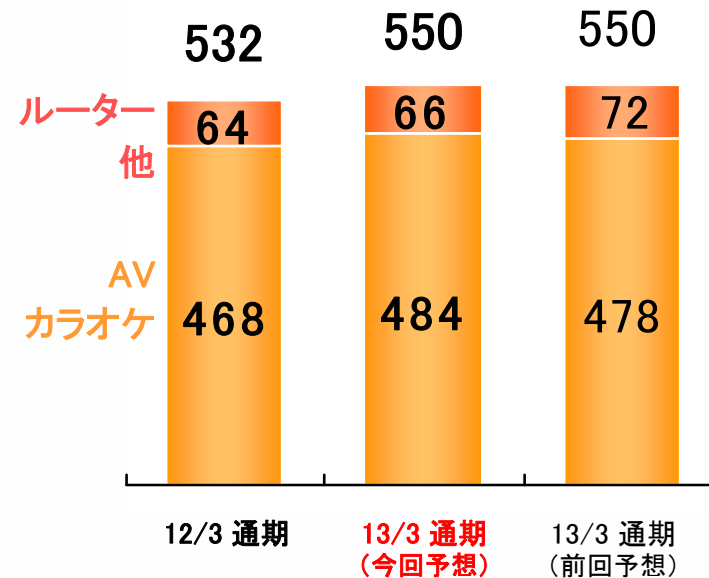
AV・IT事業 通期予想



通期予想
<ul style="list-style-type: none"> ・AV機器は前回予想並みを想定 ・カラオケは堅調、ルーターは大型物件減少により減収 ・全体では通期売上高は前回予想通り

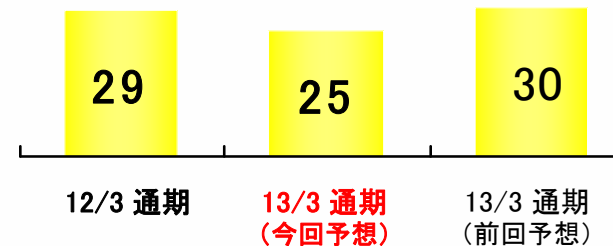
売上高

(億円)



営業利益

(億円)

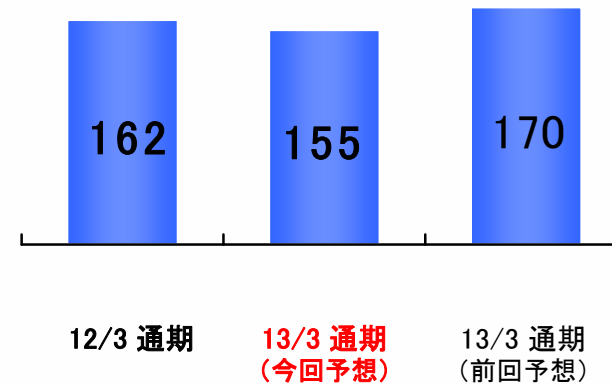


電子部品事業 通期予想

通期予想
・対前回予想減収を想定
・アミューズメント市場の競争激化
・スマートフォン新規納入先の伸び悩み
・新商品開発の前倒し
・減収に伴い損益悪化を予想

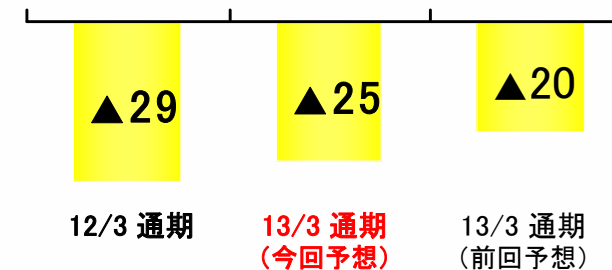
売上高

(億円)



営業損失

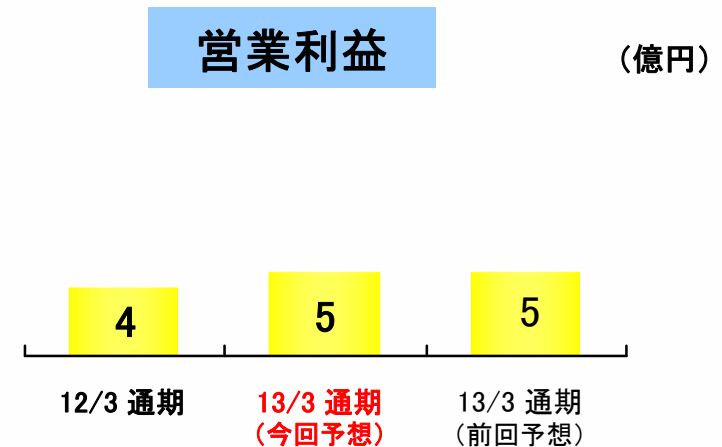
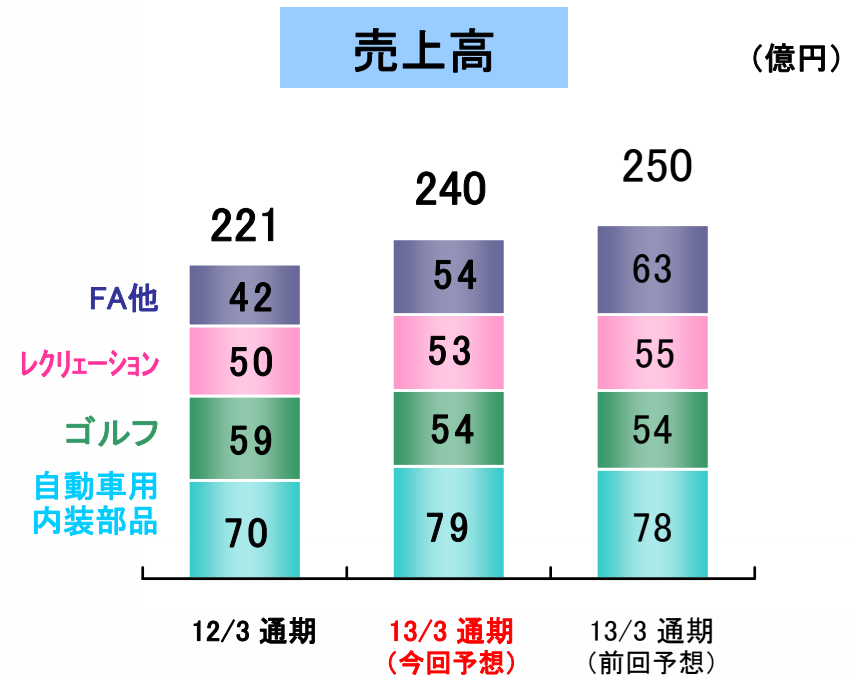
(億円)



その他の事業 通期予想



通期予想	
・対前回予想減収	
・自動車用内装部品、ゴルフは前回予想並み、レクリエーション、FA他が減収を想定	
・営業利益は前回予想並みを想定	

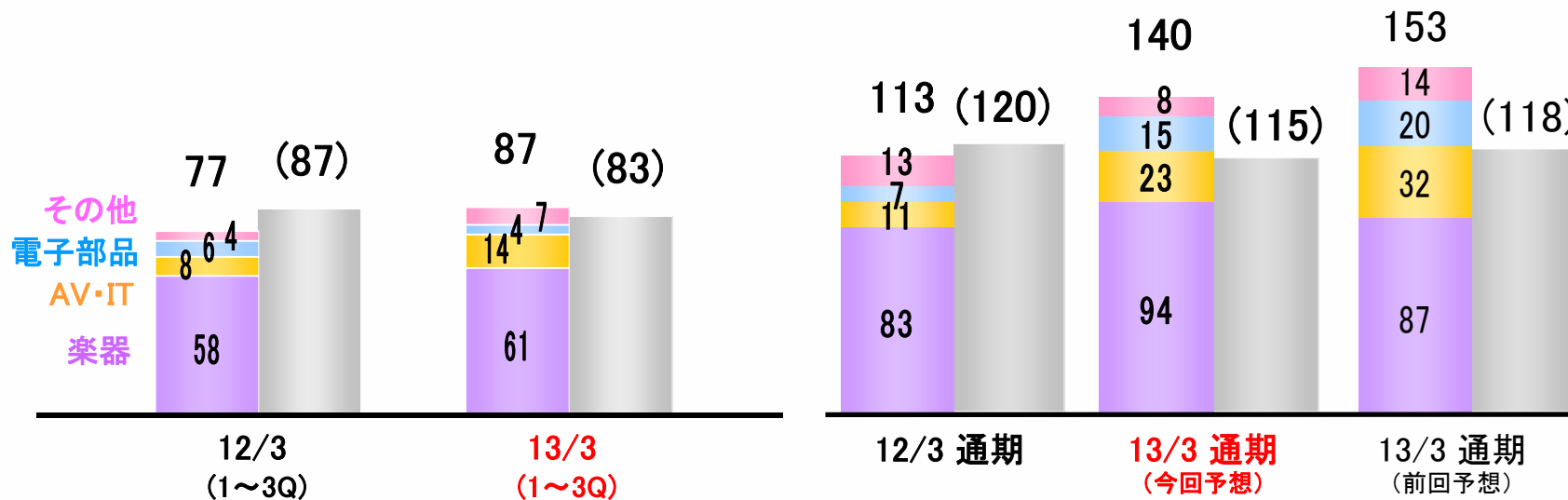


設備投資額・減価償却費/研究開発費

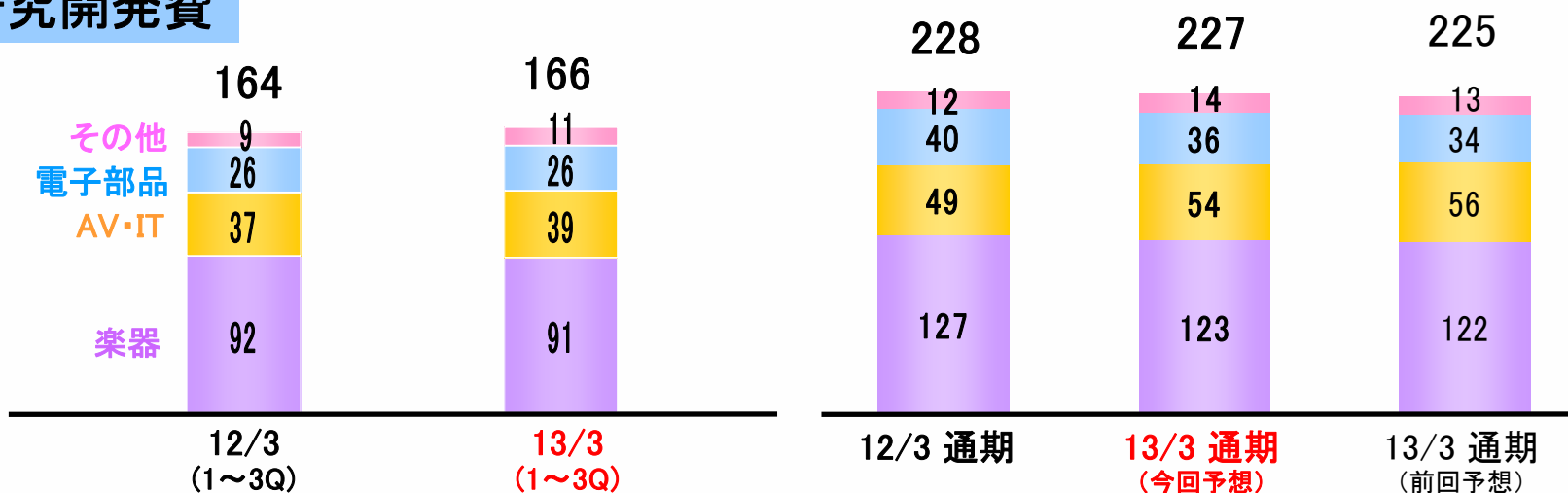


設備投資額(減価償却費)

(億円)

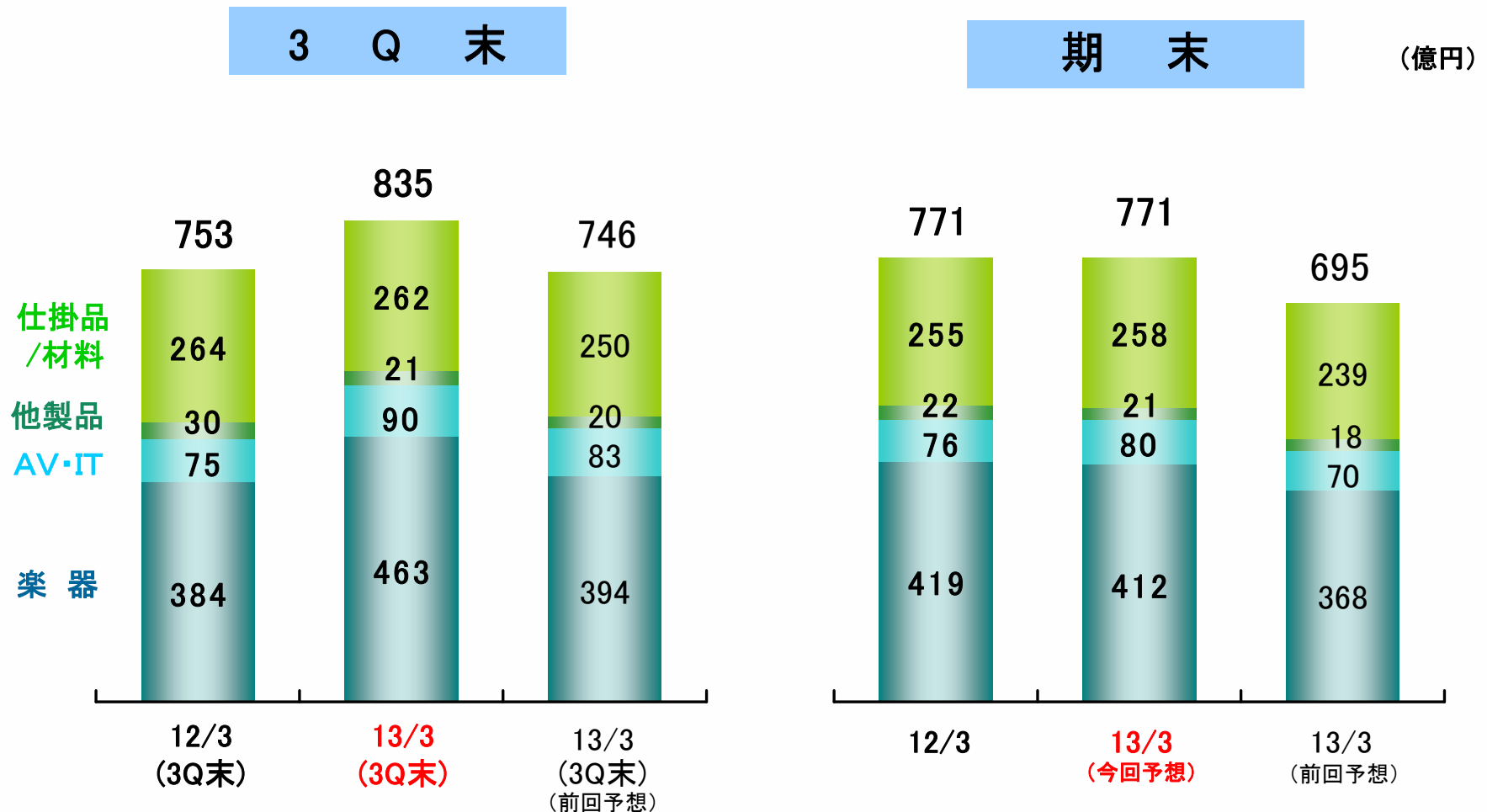


研究開発費



棚卸資産

- 3Q末総在庫は為替影響+63億円を含め対前年同期82億円の増加
- 期末在庫は771億円を想定。対前年+19億円、対前回予想+53億円の為替影響



貸借対照表



(億円)

	3Q末			期末		
	11/12末	12/12末	増減	12/3末	13/3末予想	増減
現預金	532	500	▲32	566	494	▲72
売上債権	512	571	59	445	480	35
棚卸資産	753	835	82	771	771	0
他流動資産	146	106	▲40	108	93	▲15
固定資産	1,799	1,726	▲73	1,776	1,739	▲37
資産計	3,742	3,738	▲4	3,666	3,577	▲89
仕入債務	218	191	▲27	223	196	▲27
借入金	180	206	26	113	83	▲30
リゾート預託金	156	155	▲1	155	155	0
他負債	912	1,084	172	1,107	1,090	▲17
純資産計	2,276	2,102	▲175	2,068	2,053	▲15
負債純資産計	3,742	3,738	▲4	3,666	3,577	▲89

※現預金残高には譲渡性預金を含む

付属資料

2013/3期 3Q営業外損益、特別損益



	12/3 (3Q)実績	13/3 (3Q)実績	13/3 (3Q)前回予想
(億円)			
営業外損益			
金融収支	2	1	1
その他	▲7	▲2	▲9
計	▲5	▲1	▲8
特別損益			
固定資産処分損益	0	1	0
その他	0	▲11	▲8
計	0	▲10	▲8
<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 2px; display: inline-block;">構造改革費用 ▲13</div>			
法人税他			
法人税等	9	11	7
法人税等調整額	33	1	2
少数株主利益	1	0	0
計	43	12	9

2013/3期 通期営業外損益、特別損益



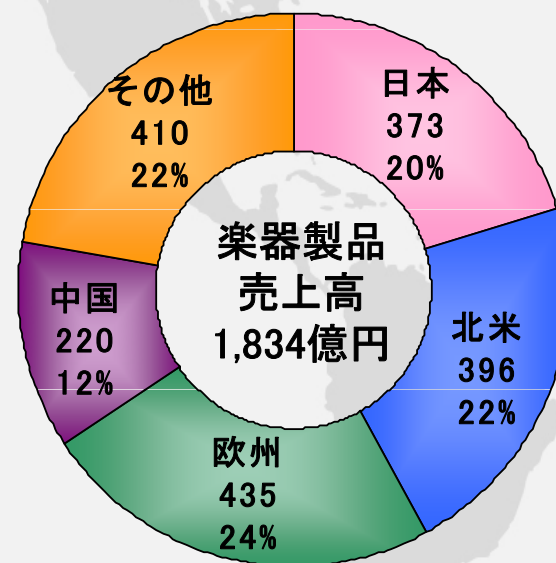
	12/3 実績	13/3 今回予想	13/3 前回予想
(億円)			
営業外損益			
金融収支	13	9	8
その他	▲21	▲19	▲28
計	▲8	▲10	▲20
特別損益			
固定資産処分損益	▲1	16	3
その他	▲2	▲36	▲18
計	▲3	▲20	▲15
法人税他			
法人税等	40	36	37
法人税等調整額	321	2	1
少数株主利益	3	2	2
計	364	40	40

構造改革費用 ▲33
 [国内事業雇用調整 ▲24.5
 営業施設減損 ▲8.5]

楽器事業(地域別の3Q販売状況)

楽器地域別状況	
日本	市況は依然回復せず。年末商戦は全商品カテゴリーで実売不振、グランドピアノ・ハイブリッドピアノは比較的堅調に推移したが、アップライトピアノ振るわずピアノ全体で前年実績に届かず。最需要期の電子楽器は、ほぼ前年並みを維持するも期待値に届かず。普及価格帯の新商品を多数投入した管楽器も前年実績に届かず
北米	アメリカは年末商戦は概ね堅調。ピアノは3Qに入り堅調に推移したが、電子楽器は店頭販売苦戦で新製品への入れ替えが進まず、前回想定売上に届かず。管楽器は学校レンタル向け出荷堅調であったが、3Qに入り減速。カナダは厳しい市場の状況が継続しているが、北米市場全体では前年実績は上回る
欧州	年末商戦は最後まで盛り上がりを欠き、前年3Qの実績は上回ったものの、欧州市場を牽引してきた独を中心とした中欧がスローダウン。不調の南欧に加え、東欧も厳しさを増している。商品別では、電子楽器、業務用音響機器は前年実績を上回るが、期待値に大きく届かず。ピアノ、管楽器が前年実績割れと厳しい状況
中国	卸販売は前年を上回ったが、小売市況は年末にややスローダウン。ピアノは前年を上回るが伸び率は大きく鈍化。ピアノ、管楽器、は店頭在庫増が懸念材料。電子ピアノは好調を継続、ポータブルキーボードは台数増も低価格化が進行。反日の影響は一応沈静化している
その他の地域	先進諸国の経済減速の影響下、新興国市場の景気も大きくスローダウン。主要新興国ではロシアが増収を継続しているが、インドは減速。東南アジアではインドネシア、タイが好調維持。中南米ではブラジル、メキシコは伸長しているが、その他はスローダウン。中東ではイラン経済制裁、シリア問題長期化で影響深刻

楽器製品売上高の地域別内訳



2013/3期予想

楽器四半期別売上高／営業利益

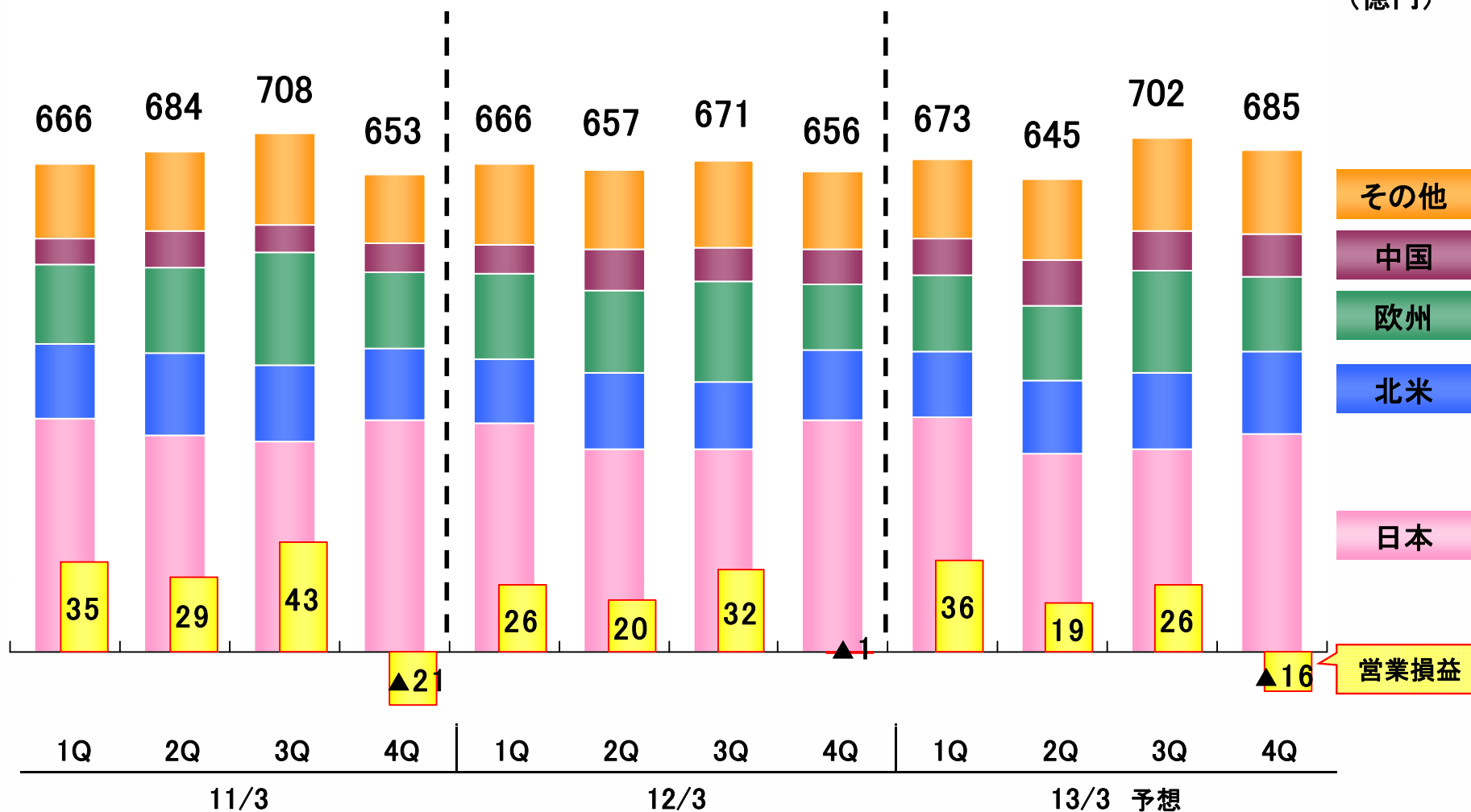


売上高 2,711億円
営業利益 86億円

売上高 2,651億円
営業利益 77億円

売上高 2,705億円
営業利益 65億円

(億円)



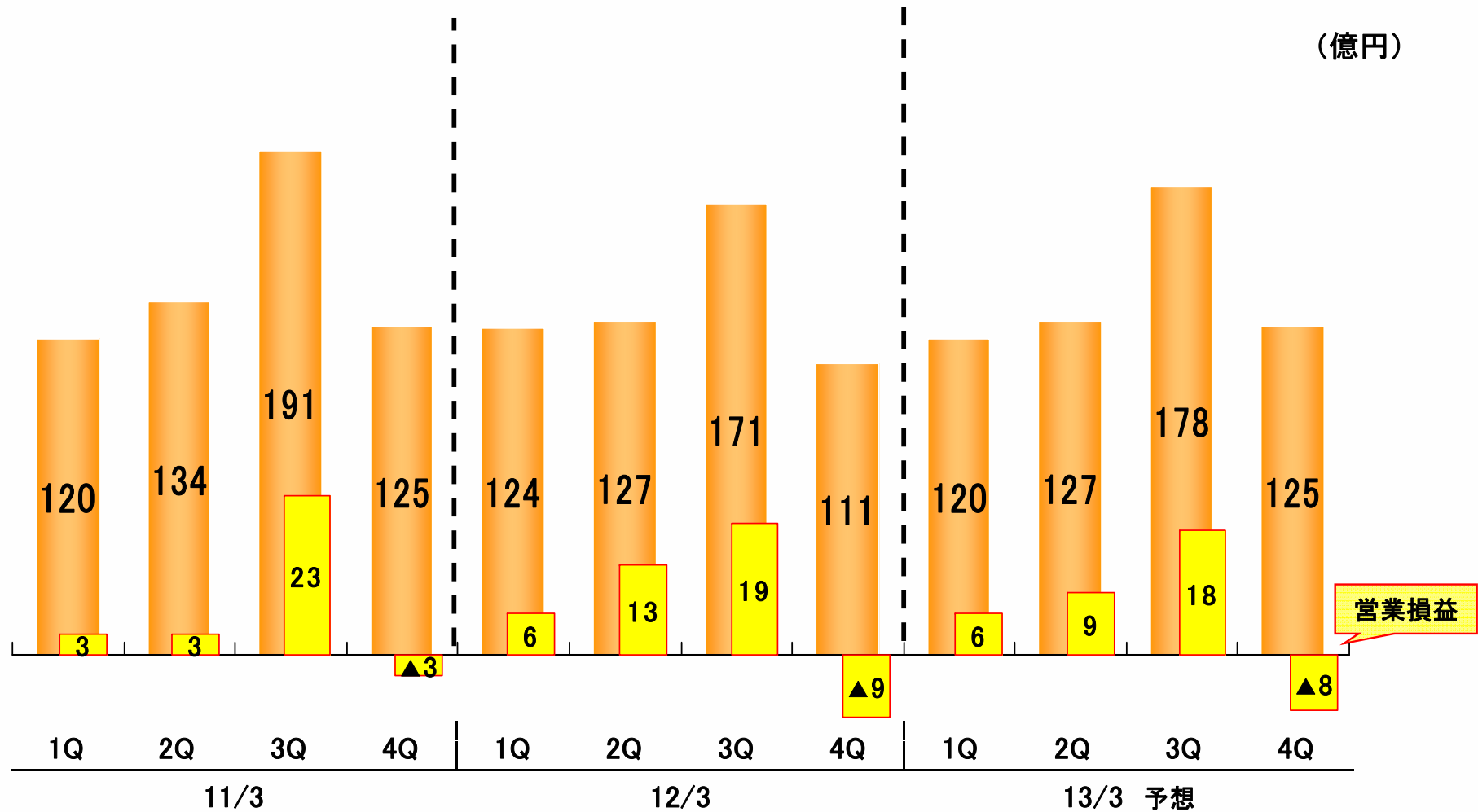
AV・IT四半期別売上高／営業利益



売上高 570億円
営業利益 25億円

売上高 532億円
営業利益 29億円

売上高 550億円
営業利益 25億円



電子部品四半期別売上高／営業利益

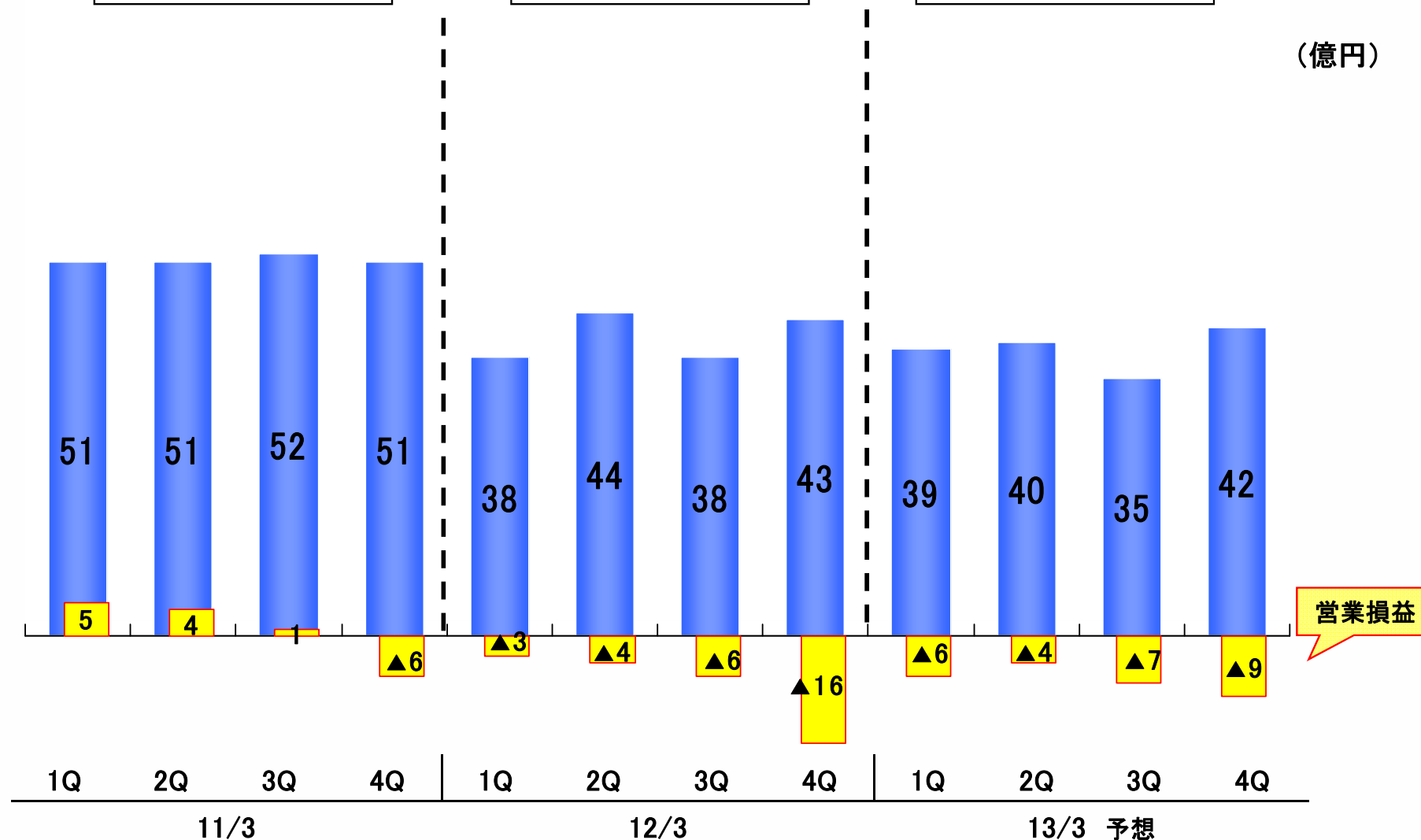


売上高 206億円
営業利益 5億円

売上高 162億円
営業損失 ▲29億円

売上高 155億円
営業損失 ▲25億円

(億円)



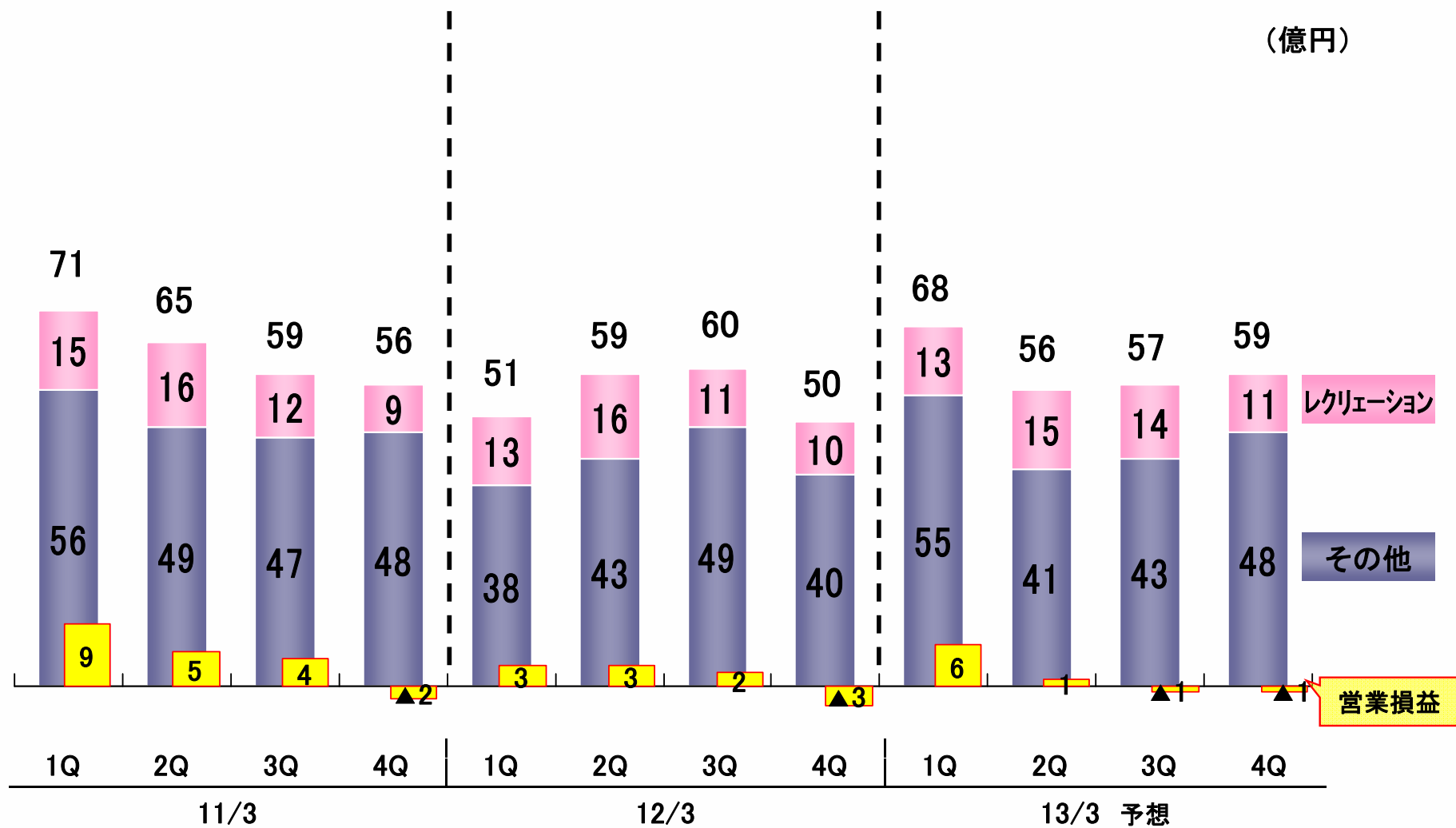
その他四半期別売上高／営業利益



売上高 251億円
営業利益 15億円

売上高 221億円
営業利益 4億円

売上高 240億円
営業利益 5億円



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。

